



太陽生命U9 ジャパンカップ全日本小学生低学年選抜アイスホッケー大会 競技・運営に関する基本的事項について

はじめに

この定めは、太陽生命U9 ジャパンカップ全日本小学生低学年選抜アイスホッケー大会を円滑に実施するため、その競技・運営に関する基本的事項をまとめたものです。

広く関係者に周知してその共有を図り、主管連盟として大会要項案を作成する際や各ブロックで予選会を開催する際、並びに広くクロスアイスホッケーを普及する際の参考資料として活用してください。

平成 30 年 11 月 2 日

公益財団法人 日本アイスホッケー連盟
普及委員会

競技・運営に関する基本的事項

1 大会の趣旨

この大会は、次に掲げる事項を目的として開催する。

- (1) アイスホッケーを初めて間もない子供たちに「アイスホッケーが楽しい」と感じてもらふこと。
- (2) 出場選手に「まだ上手ではないけれど全国大会に出場できた」という喜びを知ってもらふこと。
- (3) 参加全チームが勝ち負けにかかわらず同じ試合数を戦うこと。
- (4) 出場選手には均等にオンアイスの時間を与えること。

2 競技場及び用具

- (1) 競技は、通常のリンクを3分割したクロスアイスリンクで行う。
- (2) レッドライン・ブルーライン・ゴールライン・ゴールクリーズは設定しない。
- (3) クロスアイスリンクのセンターと仮想エンドスポット4箇所水性ペンキで印を付ける。
- (4) ゴールは、ミニゴール(1300mm×900mm)を使用する。
- (5) パックは、ブルーパックを使用する。

3 競技時間

- (1) 競技は、4on4による3ピリオド制で行う。
- (2) 各ピリオドは、16分間のロス込みランニングタイムで行う。インターバルは各ピリオド5分間とする。練習は、試合前の5分間とし、パックの使用を認める。



4 選手登録及び出場選手

- (1) 選手登録は、25名以内、ベンチ入り役員登録は6名以内とする。
- (2) ベンチ入り選手は、プレーヤー16名、GK1～2名、リザーブ1～2名、役員は4名以内（最低1名）とする。
- (3) クロスアイスオーダー表は、所定用紙に記入して、練習開始45分前までに競技本部に提出する。また、競技本部役員立ち会いのもと、両チームで交換する。
- (4) クロスアイスオーダー表は、登録選手であれば試合毎に変更を認める。
- (5) 選手交代は、1分間毎に鳴らされるブザー音に合わせて行い、クロスアイスオーダー表に沿って登録選手全員（16名）を順番に出場させる。
- (6) 4セットのローテーションは、1ピリオドの間は崩さないものとするが、2、3ピリオドについては、変更を認める。（2ピリオド以後対戦セットが同じにならないようにするため）

5 競技規則

- (1) ボディーチェックは禁止とし、オフサイド及びアイシングは適用しない。
- (2) ペナルティが発生した場合は、ペナルティショットを与える。その際、ペナルティを受けた選手がペナルティショットを行う。この場合、ショットをする選手以外はリンク内で膝をつかせて待機させる。
- (3) 1分毎のブザーでの交代とGKがパックをセーブした際のリスタートは、センターと仮想エンドスポット4箇所でのフェイスオフで行う。
- (4) 攻撃側の選手が相手側のGKに直接接触した場合は、インクリーズとして試合をストップさせる。
- (5) GWSは両方のゴールを使用する。
- (6) ユニホームとストッキングは、必ず統一したものを着用する。
- (7) フルフェイスマスク（顔が全体に隠れるもの）、ネックプロテクター及びマウスピース（単色透明・肌色・白色以外の物・口腔矯正中の選手も矯正用のマウスピース）を着用する。

6 ゲームオフィシャル

- (1) レフェリーは、ロス込みランニングタイムで行うことを考慮して、迅速な試合運営の観点から2人制で行う。
- (2) ゴールかノーゴールかの判断は、全てレフェリーが行う。
- (3) ゲームシートは作成するが、別に示す簡易な様式とする。

7 勝敗及び順位の設定方法

- (1) 予選リーグの第3ピリオド終了時に同点の場合は、サドンビクトリー方式による両チーム1名ずつのタイブレーク・シュートアウトで勝敗を決定する。
- (2) 予選リーグにおける勝ち点の計算方法は、次のとおりとする。
48分勝ち 3点 / 同点（SV方式GWS勝ち） 2点
同点（SV方式GWS負け） 1点 / 48分負け 0点



- (3) 順位決定トーナメントの第3ピリオド終了時に同点の場合は、両チーム3人ずつのゲームウイニングショットにより勝敗を決定する。それでも決しない場合は、サドンビクトリー方式による両チーム1名ずつのタイブレーク・シュートアウトで勝敗を決定する。

8 その他

(1) リザーブ選手の扱い

- ① リザーブ選手は2名までを可とし、ベンチ入りは先発選手16名、リザーブ1名～2名の18名までとする。
- ② リザーブ選手は、先発選手と区別するため、ベストの着用を義務付ける。
(出場選手がベスト着用の際は逆になる)
- ③ 試合中、怪我もしくは体調不良によりプレーが続行できなくなった時は、本部に報告の上、リザーブ選手を代わりに出場させることができる。
- ④ リザーブ選手がいない時はそのセットのみ3名でプレーすることを認めるが、4セットのローテーションは崩すことは認めない。
- ⑤ 先発選手とリザーブ選手の交代は、ピリオド間に限り本部に交代を報告の上、試合に出場させることを認める。(交代選手とベストを交換する)

(2) GKの交代

- ① GKの交代はピリオド間のみ認める
- ② GKが1名の場合で交代が生じた時は、プレーヤー及びリザーブの選手と交代することができる。
- ③ その場合、両方の試合をストップし、準備に10分間を与える。
- ④ プレーヤシューズを使用することを認める。
- ⑤ ただし、同一試合においては再びプレーヤーに戻ることはできない。

以 上